# 新宮山彦ぐる―ぷ第2165 口

### 南奥駈道春季巡視 (玉置山~21 世紀、 交差登山)

◇実施 日 2月27日 (日 日

◇参加者

晴

峰班 ;沖崎吉信、 中前偉、 西克 児島道夫、 橋本梓、 畑林 清子、 生熊千万子、

逆 班 梶野照雄、 洋子、脇地真理 豊嶋寛、 濱野兼吉、 志岐敬、 青木宏充、 坂田

1 4 名



玉置神社駐車場を出発



要所にマーク

みの活動に限定されてしまった。 ごろまで身動きが取れない。従って、21世紀の森から山在峠間の 橋梁工事のために四ノ川林道までも行くことが出来ず、3月の中旬 ではなく、21世紀の森前でバリケードが設置され、 がスタートするが、今年は例年の白谷トンネルの冬季通行止めだけ 毎年1月下旬から2月上旬に南奥駈道春季巡視整備の 行仙宿側でも 合同 行事

両氏にも参加を頂いた。 豊嶋さんの参加で何とかクリアー出来た。久しぶりに青木、 は雪が残っているので、冬用タイヤ装着車の確保が課題であったが、 2月12日に今日の行 程の一部を歩いたが、玉置山周辺の村道に 坂田の

組分けや作業内容を説明してスタートする。 当日午前 9 時半に14名が玉置神社 |駐車場に集結、 沖崎より本 一日の

#### 【順峰班】

から 強く、 この日の天気予報は晴で、気温も15℃近くまで上がるとのことだ 段の外に足を置く場所がないので、アイゼンなどの滑り止めが必要 かつえ坂にも雪は残っていたが、2週間前よりはかなり少なくなっ ったが、ここは大峰、標高は1, く歩かれているようで完全に凍結している部分が多い。 順峰班7名は玉置山山頂を目指して歩き始める。駐車場上の道 苦労して階段を上がり整備された広い登山道に出る。 の取り付き部、 軍手しか持ってこなかったので指先が大変冷たい。 狭い階段が全て氷になっている。 000 mを越える環境下だ。 幅員 ここもよ が狭く階 風も

花折塚までも児嶋さんはテープでマーキングや案内標識の補 修

ていた。

色花を用意してきて 行き届いた状態ではなかった。そこで今回は掃除道具一式と花筒や に枯枝が積もり、花筒 1 1 時過ぎに花折塚に着く。 の水が凍って陶器が割っ 花折塚の清掃を作業に組み入れた。 12日に訪 れていたり、 問した際、 と整備が 塚前









日陰には雪が残る

を入れた位だった。 北上を続け、ちょうど12時に逆峰班と合流し、昼食とした。 無線機で梶野君に連絡を取ると、村道の案内板迄来ているとい なった。 崩れた石垣の修復を行っている。15分弱で見違えるほどきれいに 早速7人で作業を始める。 花折塚の清掃 ここまでに新たな倒 樒や色花を花筒に供える人等と手早く作業は進む。 作業終了後、 中前君に心経をあげてもらった。 木は無く、 熊手やホウキを手に枯枝などを掃除 水呑金剛付近のブッシュにハサミ 児嶋さんは する 、 う。

れぞれ出発、 12時35分、コジマカフェ 如意珠岳、 古屋の宿と順調に進み、 0 コー <u>ا</u> を頂き、 古屋の辻から21 順 峰 班、 逆峰 班そ

> 世紀 れていて、 村道には凍結部分があり、 の森 へと下る。逆峰班がデポした車は奥駈 2車に分乗して玉置神社駐車場に戻った。 12日に通った時と大差なかった。 道石柱の傍に停め 駐車場までの



昼食



如意珠岳で



登山口に到着

## 行動タイム

00 14:1821世紀の森登山口→14:51 玉置神社駐車場 09:30 玉置神社駐車場→09:55 玉 花折塚 11:30→12:00 順峰 班合流 置 Щ 山頂→10:10  $12:35 \rightarrow 13:$ かつえ坂→11: 如 意珠岳→

#### 【逆峰班】

いた。 の石柱の傍に車を停めた。古屋の辻まで登ると結構強い風が吹いて た積雪は凍り付いていた。 沖崎車と豊嶋車の2台で21世紀の森に向かう。村道の日陰に残っ 30分弱で21世紀の森に到着。 登 山 口









村道に出る

登り始める

合流するまで先に進む。 豊嶋さんが「もう、 花折塚で掃除中、 分に村道の案内板に着いた。 アセビやユズリハなどの枝を払いながら順調に進み、 ちょっと遅れるとの事だった。 お昼にしよう」と言うのを聞き流して順峰班と 12時に沖崎さんと合流、5分ほどで全員 直後に沖崎さんから無線連絡があり、 11時20

が合流した。









倒木処理

駐車場へ下る

氏が処理してくれていた。 残した倒木を処理、この手前にもう一本あったが先行していた青木 昼食後、 駐車場を目指して南下を始める。 かつえ坂手前で先日切り









駐車場に到着

逆峰班が戻る

本日の参加者

出番はこの2ヶ所のみだった。かつえ坂で少し登山道に飛び出していた木を切除、チェーンソーの

て来られた。奥駈道三差路から駐車場へ下る。脇地さんは玉置山山頂まで往復し

良く判った。 、大になっていて、青木、坂田の両氏がアイゼンを付けていた理由が がになっていて、青木、坂田の両氏がアイゼンを付けていた理由が を選んで歩かなければ、滑って転ぶ。特に村道に降りる階段が全面 三差路から駐車場までは踏み固められた積雪が凍っていて、場所

駐車場に戻って10分後、順峰班が帰ってきた。

(記;梶野)

### 行動タイム

社駐車場 10:0021世紀の森登山口→10:24 古屋宿→10:49 蜘蛛の口→11:11:01:0021世紀の森登山口→10:24 古屋宿→10:49 蜘蛛の口→11:

彦ぐる一ぷは人使いが荒い?)
いた。今後もお元気で益々のご活躍を祈念してやまない。(新宮山迎えられる橋本、豊嶋の両氏にささやかなお祝いをお贈りさせて頂ーの差し入れがあった。皆さんに今後の予定を連絡し、今年米寿を巡視が無事に終わり駐車場に集結。売店の栄山さんから缶コーヒ